

**** 相談活動50年、一人でも入れる組合です **** 支部携帯：090-8109-7682
TEL:044-811-4138 FAX:044-811-4144 メールアドレス:jmitu-kawasaki@aioros.ocn.ne.jp

第69回定期大会

2021年7月25日

13時より川崎市総合自治会館にて、JMITU川崎支部の第69回定期大会が開催されました。

議長…光田さん
書記…小林さん
司会…浅岡さん



運営…今野さん

選挙管理委員…

細谷(あ)・煤田さん

大会は12名の参加(＋委任状7名)で成立。

神奈川地方本部からは、庄司書記長が参加され挨拶とその後の討議にも参加されました。

庄司書記長は挨拶で、『コロナ禍で組合の色々な催しが中止になっている。組合活動は不要不急な活動なのか？組合内部からこんな状況ならば組合はいらないのでは？』という意見も出ている。公務員の6.5才までの定年延長は、大きな前進だが、内容には問題があるようだ。』と述べました。

浅岡書記長の第1号議案



(総括報告) ・ 第2号議案(活動日誌) ・ 長谷川委員長(第3号議案(運動方針案)) ・ 光田執行委員の第4号議案(決算報告) 及び第5号議案(予算案) ・ 特別決議の第6号及び7号議案・大会宣言のすべての提案について、全会一致で承認可決しました。

さらに新しい役員体制も全会一致で全員信任されました。

大会での意見要旨

崎陽軒について

◎川崎支部が行った横浜駅(崎陽軒本社前)のピラ(パート労働法)配布のあと、会社から(相談窓口設置の)通達が各売店に配られ事務所にも貼られている。

◎3月16日にレストランのcockさんが、暴力問題で懲戒処分になった。

◎組合員の雇用形態について、8月中をめどに労働基準監督署に相談に行く予定。

支部ホームページについて

◎支部ホームページの分会紹介の、フジコン分会(解散している)の記事は削除してほしい。実態に合った対応をお願いしたい。

◎決めてもらえればすぐにも削除します。支部の歴史として分会のことを残す方法はないか。

2面へ続く

川崎支部第69回 定期大会を終えて

川崎市総合自治会館で7月25日(日)に定期大会を開きました。大会では支部の現状、前大会からの一年間の総括、これから川崎支部の各分会をどのようにしていけば、職場労働者が安心して働き生活ができるかをみんなで話し合いました。

役員選挙では来期の新役員も決まり、再び私が執行委員長をすることになりましたが、新役員と一緒に組合員みんなで、コロナ禍で大変な状況が続いています。が萎縮をしないで取り組んでいきますので、職場の皆さんも是非とも協力をお願いします。

執行委員長

長谷川 清



1面から

ツイッターの 活用について

- ◎ ツイッターの利用をしたら発信が早い。
- ◎ 支部でやるのは難しそう。

三和エレクトロニクス 分会について

- ◎ 最初の回答からなかなか回答が変わらない。要求提出・回答指定日までの闘いが重要。二ユーを多く出した。
- ◎ 一時金交渉の対応で反省する点がある。
- ◎ 製造の女性がパワハラで退職していたことがわかり労使懇談会で会社と交渉した。パワハラの対応者に女性がない。
- ◎ 女性が直接パワハラを受けたというよりも、取締役が部下にパワハラをしているのを見ていてそれが嫌で辞めた。
- ◎ (退職した組合員から) 再雇用期間が終わりの退職しました。職場から出たら力が出せなくな



再雇用期間延長・ 定年延長について

るので再雇用の延長や派遣で残りたかった。委員長に負担がかかってしまう。電波共闘会議は解散になってしまった。交流ができなくなって残念だ。

- ◎ 定年で退職して給与の高い会社に行く人はいないのか。
- ◎ なじんだ職場で働いた方が働きやすい。

◎ 会社の待遇が良ければ残りたくなる。これからますます年金などが悪くなる。残って働く方向になる。

大会議案書の 誤り等の指摘

- ◎ 4ページ(総括)で日本シャッター分会の一時金関連の記述(賃上げについて)に誤りがある。

◎ 19ページ(方針)崎陽軒の所に「工場での宣伝も検討」を追加。

【細谷し記】

第69期 川崎支部 役員体制	
執行委員長	長谷川 清
副執行委員長	矢部 常次
	細谷 静雄
書記長	浅岡 正夫
執行委員	小林 正一
	今野 浩征
	光田 道雄
会計監査	石田 洋司
	澁谷 久美

原水爆禁止2021年世界大会

被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を—人類と地球の未来のために

2021年世界大会8月2日～9日
オンライン集会、各地で実施



核兵器禁止から廃絶への展望を示す

被爆76年の原水爆禁止2021年世界大会(8月2日から9日)は、ことし1月、核兵器禁止条約が発効し、世界のルールとなり初めて開かれる歴史的大会です。

世界には1万3000発の核兵器があり、実戦配備の核弾頭は3800発にのぼります。核兵器廃絶は人類にとって緊急の課題です。

核兵器禁止条約は署名86カ国、批准55カ国と大きく広がっています。昨年の国連総会で加盟国の3分の2の130カ国が「核兵器禁止条約」決議を支持するなど核兵器のない世界の実現へ主要な推進力になっています。

大会には来年1月の核兵器禁止条約第1回締結国会議を担う国連・政府代表、第10回NPT(核不拡散条約)再検討会議の政府代表が参加します。平和運動も、自国政府に条約の署名・批准を求めるアメリカ、イギリス、フランスなど核保有国、ベルギー、韓国など「核の傘」の国の代表が参加し、条約参加の世論と運動、政府・公的機関との共同を発展

させます。

「核抑止論」を打ち破り、核兵器使用を阻止

被爆者の声、核兵器の非人道性を発信し、核抑止論を打ち破り核兵器使用を阻止する大会となります。アメリカ、ロシア、中国など核保有国は禁止条約に背を向け、核兵器の近代化、覇権争い、核軍備競争を展開しています。台湾海峡で軍事衝突が起これば、沖縄や日本の米軍基地が攻撃拠点となり、日本の戦争参加・核兵器使用も現実のものになりかねません。

禁止条約に参加する日本の実現へ運動と共同発展

大会は禁止条約に署名・批准する日本の実現を目指し、国民的運動と共同を発展させる意義を持っています。

《8月6日「ヒロシマ集会」をJ-M-T-U中央本部会議室で、リモート集会を開催し希望者は参加できます。矢部まで連絡下さい》

- 国際会議**
形式：オンライン (ZOOM)
8月2日(月) 10:00~12:30
- ヒロシマデー集会**
形式：オンライン (ZOOM)
8月6日(金) 10:00~12:30
- ナガサキデー集会**
形式：オンライン (ZOOM)
8月9日(月) 10:00~12:30

なんぶせん

今年の最低賃金改定の目安は、厚生労働省の中央審議会において全国すべての地域で時給28円3・1%の引き上げの答申となり、目安制度発足以来最高額となりました。「コロナ禍の中でこそ大幅引き上げを」と訴えてきた労働者と国民世論の広がりを受けて現行制度下で最高の上げ幅となりました。しかし目安通りの改定を実施しても全国平均は930円です▼審議では、労働者側が75円の引き上げを主張。使用者側の一部は「現行水準を維持」を求め、公益委員の示した28円引き上げ案にも反対し、異例の採決となりました。地域間格差(現在221円)についても、引き上げ額を全国同額とすることで拡大を許しませんでしたと報道されています▼菅首相は「早期に時給1000円をめざす」としていますが、何よりも政府が、中小零細企業に対しては社会保険料の事業主負担を減免し、大企業による下請けいじめを取り締まるなど中小零細企業が活用しやすい具体的支援策を示し、本気で時給アップをめざすべきです▼最低限の生活を営むために必要な生計費は、全労連の調査によれば全国どこでも1500円以上です。地域間格差をなくし「全国一律時給1500円」は、労働者全体の賃金水準の引き上げにつながる、コロナ禍で落ち込んだ地域経済の回復に大きく貢献します▼10月までに、中央の答申を受け各都道府県ごとの審議会が最賃引き上げ額が決定されます。あきらめずに「全国一律時給1500円」をめざし引き上げに労働者が連帯し運動を広げ国民世論をつくらう。

【ジョーシ】

NPO法人ワーカーズネットかわさき 第5回総会行われる

7月11日(日)午後1時30分より、溝ノ口のテクノかわさきにて年一回の総会が開催されました。

《総会前に講演会》

総会の前に専修大学の兵頭教授(会の代表理事)から『アフターコロナの労働運動』と題した講演が行われました。

印象に残った内容は、コロナパンデミックは起こるべくしておこった。対抗手段としてのSDGs(エスディーズ)

【持続可能な開発目標】

での脱炭素社会は有効か?

新しい概念としての【SMU】『社会運動ユニオニズム』(一般組合員、非正規、女性、外国人労働者を組織する既存の組合にはない運動)の意義など、単なる相談活動から組合の組織化への

運動方向の学習をしました。

《困難な中でも

前進を》

総会では、ZOOM参加も含め十数名の参加で、議長にJMITUの浅岡が選出されました。三つの分野での活動報告がありました。街頭相談の分野では、コロナ禍でも工夫を凝らして一定の相談件数があったこと。また、ホームページやブログで知らせる活動が報告されました。

ワークルールの分野では、映画「蟹工船」の鑑賞と学習会、専修大学での寄付講座の開催。政策提言の分野では、保育労働者の実態調査や教育現場の条件改善などの取組の報告がされました。今後は、街頭相談の継続『活動紹介動画』の作

成と英語版のパンフレット作成。専修大学での寄付講座の継続、政策提言活動の継続が全会一致で確認されました。また、財政報告と予算の討議と実務処理の報告がありました。参加者からの意見では、英語版のパンフレットのほかに、中国語の編集も可能という積極的な提案も出されていました。コロナ禍で活動が困難な中、知恵を出し合い運動を進めようとする雰囲気を感じられる総会でした。

記・浅岡



渋谷のイメージフォーラムで、『東京クルド』を観た。三和分会 細あ

6、7才の頃にトルコから迫害を逃れて、日本に家族と共にやってきたオザン（18才）とラマザン（19才）の姿を追うドキュメンタリー。

始まってすぐ、これは私の苦手とする映画だと気づいた。この席（前列から3番目）もよくない。手持ちのカメラなので酔いしたようになってしまう。幸運？にもガラガラだったので、後方の席に移動する。えぐえぐしながらも観つづけたのはあまりにひどい入管職員の対応や二人の希望を無残に打ち砕いていく日本の社会。やりきれなくて、だからこそ席を立つわけにはいかない。

二人ともイケメンで遊んでいるときは屈託がない好青年。



詳しくは描かれていないけれど、家庭環境も学校生活も異なっていたのだろうと察せられる。ラマザンは、入管に行く（高校を卒業したら、2カ月に一度は行くことになったと話していた）

ときはキチンとした恰好で行く。クルド語とトルコ語、日本語を話せるから、英語学校に行つて通訳になって世界を回りたいという夢を話す。『お前は日本語の読み書きもできるんだから翻訳もできる、難民申請はどうなるかわからないが、やれることをやっておかなければ後悔することになるぞ』と、『やりたいことがわからない』と話すオザンを励ます。

解体の仕事を日雇いでやっているオザンは、自分は不良だといいい、居場所がない、ここでは虫以下の存在だと吐き捨てる。入管にも挑発的な格好で行き、入管職員ともやりあう。『仕事しちやいけないなら、どうやって生活するのさ』職員『知らな

いよ。そっちでどうかしてよ。働いていたら、いつ収容されるかわかんないよ。』、職員『そう決まってるんだから』オザン『法律が正しいとはかぎらないよね』、職員『他の国に行つてよ、他に』。屈辱的な目に合いながら、でも身の危険を感じないで暮らせるほうがましという。

これ以降はネタバレです。

ラマザンは、難民申請中の生徒を受け入れたことが無いという理由で英語の専門学校に入学できず、自動車整備の学校に入学する。オザンは解体以外の仕事を求めて、芸能事務所？に登録しようとするが、仮放免の身で法律的には働くことができないため断られる。そんな二人に起こるのがラマザンの叔父の事件。叔父のメットは入管に収容されていて、具合が悪くなり、家族の要請で救急車が到着するも入管は救急車を空で返す。家族の抗議もどこ吹く風。何カ月も過ぎて、総合病院を受診させた際は、手錠、腰縄で連れて行く。その後メットも仮放免になるが、出迎えた息子が嬉しさより不安そうな表情で泣きじゃくるのがやるせなかった。オザンの入学式の姿、ラマザンが街中を車で疾走する姿で終わるが、

そんな結末はいやだよと祈るような気持ちだった。

日本という国は、ある国の人にはパスポートもなしで入国させてしまうことができるガバガバの国であり、命から逃げてきた人を犯罪者扱いする国でもある。国中に差別が横行しているには理由があるのだ。映画のチラシには『問われるのは、スクリーンをみつめる私たちだ』と。東京オリンピックより東京クルドを。

ピツタピタ はまつて
浅岡 正夫

朝日新聞の『天声人語』で、東京五輪のスケートボードのTV解説で、『マジヤバイっす』など「スベ」を盛んに使われていた事を報じていた。解説を担当したのは瀬尻稜（せじりりょう）さん24歳。テレビも新聞も随分変わったなと思う。文章の最後に『競技の流れにピツタピタはまつてました、大役マジお疲れさまっす』と朝日新聞が・・・。

6712号のナンバープレース
の答えは3種類になりました

《クイズの結果》

賞品は500円相当です。
解答者は4名です。3種類の正解が出てしま
いました。

1-9963 2-3963 3-9937となり申
し訳ありませんでした。今後気をつけます。

〈正解者〉

尾崎康尚さん 日本シャッター分会
石田洋司さん 合同分会
菅原祐三さん 支部報読者
長谷川綾子さん 三和分会家族
(全員賞品は図書カードでした)

支部報編集委員会からのお願い

支部定期大会も無事に終了し、新年度が始ま
りました。

今後の支部報の紙面を充実させるため、皆さ
んが参加できる企画を立てられるよう努力をし
ていきます。つきましては、内容は自由とし
『読者の声』欄を設けて、広く投稿をお願いす
ることとしました。

《 原稿の送付方法 》

1. 編集委員に直接お渡しください。
2. FAXにてご送付ください。
3. メールにてご送付ください。

以上の方法でお願いします。長文の場合はあら
かじめご連絡下さい。

(支部報編集委員会より)

前回の支部報(6712号)の内容で

次のような指摘がありましたので訂正します。

- ① 2頁目「シャッターの要求は一律8000円」ではなく
「フルタイムの基本給5000円」です。
- ② 6頁目『年末一時金カンパ』ではなく
『夏季一時金カンパ』です。



JMITU川崎支部
ホームページ

今後の日程

- 7月30日(金) ワーカーズネット街頭相談(溝の口デッキ) 19:00~
8月02~09日 原水爆禁止世界大会(広島・長崎・オンライン)
05日(木) ワーカーズネット相談PT(ZOOM) 19:00~
07日(土) 労働相談(支部事務所) 13:00~
10日(火) 川崎労連幹事会(産業振興会館) 18:30~
11日(水) 第1回書記局会議(支部事務所) 19:00~
14日(土) 労働相談(支部事務所) 13:00~
17日(火) ワーカーズネット運営委員会(ZOOM) 18:30~
18日(水) 第1回支部報編集委員会(支部事務所) 18:00~
第1回支部執行委員会(支部事務所) 19:00~
20日(金) ワーカーズネット街頭相談(川崎駅前) 19:00~
三和エレクトロニクス分会第61回定期大会(総合自治会館) 17:45~
21日(土) 労働相談(支部事務所) 13:00~
23日(月) 三和エレクトロニクス分会労使懇談会(三和) 17:30~
24日(火) 川崎労連評議員会(エポック中原) 18:30~
28日(土) 労働相談(支部事務所) 13:00~
9月01日(水) 第2回書記局会議(支部事務所) 19:00~
04日(土) 労働相談(支部事務所) 13:00~